

国土の管理構想の検討方針

1 国土の管理構想について（方針の見直し①）

第16回専門委員会で示した国土の管理構想の枠組み等検討の前提となる内容について、御意見を踏まえて、方針の見直しを行う。それに伴い、これまでの専門委員会の議論では具体的検討が不足している点について、追加的議論を行う。

□ 「管理構想」の名称について

- ・「国土の管理構想」と修正。所有権の及ぶ範囲である土地だけでなく、空間としての国土を対象としたものであることを明確にする。

□ 「国土の管理構想」とは

- ・地目横断的、複合的、他の地域へ影響する課題等の人口減少下の国土管理上の課題に対応するもの。
- ・これまで、将来的に放置される可能性が高い土地における悪影響に対応した管理を主眼に議論してきたが、国土の機能を発揮させる積極的な管理もあるのではないかと御指摘を踏まえ、また土地の放置に限らない人口減少下の国土管理の課題も存在すると考えられるため、土地の放置による悪影響の抑制・緩和の視点のみならず、利活用による適正な管理の視点も含め（2018取りまとめの内容も踏まえ）、全ての国土を対象に、人口減少下の課題に対応した管理のあり方を示すものとする。
- ・上記方針を踏まえ、これまで地目ごとに整理していた土地の放置により発生する悪影響にとどまらず、人口減少下の国土管理として対応すべき課題が何か、また、国土全体のどこに課題が存在するのかについて、追加的に検討し、整理・提示する必要がある。

□ 枠組み・構成について

- ・ 第16回専門委員会においては、管理構想の構成として、WS等ケーススタディが進んでいた、地域における管理構想の策定についてのみ整理するものとしていた。
- ・ 委員会では、国としての政策提言となる国土管理のあり方を示すことの必要性や、そのあり方を地域レベルにも浸透させること、ボトムアップの管理構想と調整を行うことの重要性やその方策についてご意見があった。
- ・ このため、国としてのトップダウン的発想での人口減少下の国土管理のあり方、それを踏まえた国・都道府県・市町村・地域の各レベルが対応すべき管理のあり方や管理構想に位置付けるべき内容、また、それら各レベルの管理構想に整合性を持たせるための計画体系について、具体的視点・方向性や手法を明らかにするための検討を追加的に行い、国土の管理構想において示すこととしたい。
- ・ なお、これを踏まえて、国土の管理構想は、国、都道府県、市町村、地域のそれぞれの国土管理のあり方について言及するものとし、それに対応した各章を設けた構成とする。
 - 第1章 総論：国も含めた各主体の国土管理のあり方や役割分担等
 - 第2章 都道府県における管理構想の策定：都道府県が行うべきことの詳述
 - 第3章 市町村及び地域における管理構想の策定：市町村・地域が行うべきことの詳述（策定の指針を示す）

【第1章】総論

1. 国土の管理構想とは

(1) 国土の管理構想とは

(2) 国土の管理構想の計画体系

- ・国、都道府県、市町村、地域ごとの管理構想の関係性とトップダウンとボトムアップのプロセス
- ・法制上の位置付け

2. 人口減少下の国土管理の問題と管理のあり方

(1) 人口減少下の国土管理の課題

- ・人口減少下の国土管理の課題の整理（悪影響の時間的・空間的整理、国土全体のうち課題の存在するエリアの分析等）

(2) 人口減少下の国土管理のあり方

- ・国としての長期的・広域的視点からの国土管理のあり方（考慮すべき視点と、各分野の調整点や統合的考え方の提示）
- ・国、都道府県、市町村、地域で対応すべき国土管理のあり方

3. 管理構想に関する国・都道府県・市町村の役割分担と連携・調整

- ・国、都道府県、市町村、地域のそれぞれの役割
- ・国・都道府県・市町村による人材支援における役割分担（支援手法、支援内容の役割分担等）
- ・国・都道府県・市町村が整備・提供するデータの種類や役割分担
- ・各レベル間の連携、調整

4. 国土の管理構想のモニタリング・見直し

- ・モニタリングの基本的方向性

【第2章】都道府県における管理構想の策定

1. 都道府県管理構想の記載内容

- ・記載事項（現状把握と将来予測、管理のあり方、管理すべきエリア、市町村、地域において考慮すべき視点、市町村への支援内容、都道府県自らの管理の取組等）
- ・2. 都道府県管理構想のモニタリング・見直し
- ・モニタリング手法や指標

【第3章】市町村及び地域における管理構想の策定

1. 市町村管理構想・地域管理構想の意義
2. 市町村管理構想・地域管理構想の調整プロセス及び記載内容

- ・市町村内で調整・協議すべき事項と協議の場の設置
- ・市町村管理構想、市町村管理構想図の記載事項（現状把握と将来予測、管理のあり方、地域への支援、他の計画との調整事項、市町村自らの管理の取組等）
- ・地域管理構想、地域管理構想図の記載事項（現状把握と将来予測、行動計画（管理のあり方、主体と役割分担）等）

3. 市町村管理構想・地域管理構想の策定に当たる留意事項
4. 市町村管理構想・地域管理構想の策定に当たる市町村におけるデータ整理

- ・管理構想の策定に当たって有用・活用可能なデータの種類とその整理

5. 地域管理構想の策定に関わることが想定される主体と求められる役割

- ・地域の中心となる主体、取組への関与が有効と考えられる主体、住民外の人材の役割、マッチング手法等

6. 地域管理構想の策定プロセス

<ステップ0：事前準備・機運醸成>

- ①市町村による地域の現状の把握
- ②地域での話し合いに向けた事前準備
- ③地域の機運醸成や地域管理構想の策定に資する情報提供

- ・市町村において確認・判断すべき事項と地域の機運醸成のための取組
- ・地域管理構想の策定が推奨される地域（適用可能性）の整理（2020年とりまとめの内容を踏まえた整理）
- ・地域の状況を踏まえた検討ステップの考え方

<ステップ1：現状把握と将来予測>

- ・話し合いの実施と現状及び将来の見える化の手法

<ステップ2：地域管理構想図の策定>

- ・検討フローに基づく土地利用・管理の選択手法（悪影響の抑制・緩和の視点のみにとどまらない）

<ステップ3：行動計画と地域のルールの策定>

- ・実行に向けた行動計画やルール策定（次回日中条村WSを踏まえた整理）

7. 地域管理構想の見直しと市町村管理構想のモニタリング・見直し

- ・地域管理構想の見直し手法
- ・地域管理構想も含めた市町村のモニタリング手法

- 資料2-2は過去16回の委員会における議論の内容から、国土の管理構想の構成案を整理したもの
(各回の取りまとめ概要については参考資料2)
- 資料2-2に整理している、以下の点についてご意見をいただきたい。
- ✓ 国土の管理構想に記載・整理すべき事項
- ✓ 国土の管理構想をまとめていくために、今年度議論が必要と考えられる残された論点
- ✓ 国土の管理構想の整理に当たって、留意すべきと考えられる事項